



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL) 04(7094)5581
四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-----|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 939 | 3.5 | △12 | — | △25 | — | △21 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 907 | 4.4 | △11 | — | △26 | — | 5 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | △2.44 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 0.61 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 6,287 | 1,034 | 16.4 | 48.37 |
| 29年3月期 | 6,459 | 1,050 | 16.2 | 50.16 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,034百万円 29年3月期 1,050百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,100 | △1.8 | 170 | △1.0 | 130 | △5.6 | 100 | △40.9 | 11.18 |
| 通期 | 4,000 | △2.4 | 120 | △31.8 | 50 | △57.9 | 30 | △75.9 | 3.36 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期1Q | 10,453,920株 | 29年3月期 | 10,453,920株 |
| 30年3月期1Q | 1,514,074株 | 29年3月期 | 1,514,074株 |
| 30年3月期1Q | 8,939,846株 | 29年3月期1Q | 8,941,420株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| A種優先株式 | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 2 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3. 四半期財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調を辿っているものの、米国新政権の運営動向、中国・新興国経済の減速傾向、欧州の政治リスク等、景気の先行は依然として不透明な状況にあります。

リゾートホテル業界におきましても、海外旅行は一部地域を除き回復傾向にある中、国内旅行も訪日外国人客の増加や個人需要に支えられ堅調に推移いたしました。

このような状況の中で当社は、販売力の強化と収益力の拡大を主要課題として取組んで参りました。販売面につきましては、引続き全事業所でのインターネット販売の一段の強化を目指し、ネット業者との提携増強と商品内容の改善等に努めました。また、収益面につきましては、増収効果に加え人件費の適正配分と経費の圧縮に取り組みました。

その結果、当第1四半期会計期間の営業収益は939百万円と前年同四半期と比べ32百万円(3.5%)の増収となり、営業損失12百万円(前年同四半期は11百万円の損失)、経常損失25百万円(前年同四半期は26百万円の損失)、四半期純損失21百万円(前年同四半期は5百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ172百万円減少し、6,287百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ156百万円減少し、1,340百万円となりました。これは主に、現金及び預金が98百万円及び売掛金が60百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ15百万円減少し、4,946百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が27百万円増加したものの、建物が53百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ162百万円減少し、4,513百万円となりました。これは主に、短期借入金が50百万円、未払費用が40百万円及び賞与引当金が22百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ5百万円増加し、738百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ15百万円減少し、1,034百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、ホテル関連、リゾート関連とも堅調に推移しており、第2四半期は、主力であるリゾートホテルの稼働が最も高くなる夏季シーズンを迎えることから、天候に左右される面はありますが、第2四半期累計期間及び通期業績共に当初予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,184,668 | 1,086,120 |
| 売掛金 | 200,842 | 140,823 |
| たな卸資産 | 45,882 | 48,136 |
| 未収入金 | 3,186 | 5,727 |
| その他 | 65,116 | 62,027 |
| 貸倒引当金 | △2,615 | △1,898 |
| 流動資産合計 | 1,497,081 | 1,340,937 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 12,064,843 | 12,057,042 |
| 減価償却累計額 | △8,788,701 | △8,834,511 |
| 建物(純額) | 3,276,141 | 3,222,530 |
| 構築物 | 514,609 | 514,609 |
| 減価償却累計額 | △468,834 | △469,574 |
| 構築物(純額) | 45,775 | 45,035 |
| 機械及び装置 | 229,862 | 230,328 |
| 減価償却累計額 | △170,329 | △171,273 |
| 機械及び装置(純額) | 59,532 | 59,054 |
| 車両運搬具 | 20,113 | 20,113 |
| 減価償却累計額 | △19,108 | △19,108 |
| 車両運搬具(純額) | 1,005 | 1,005 |
| 工具、器具及び備品 | 845,675 | 847,862 |
| 減価償却累計額 | △751,355 | △754,462 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 94,319 | 93,399 |
| 土地 | 1,070,346 | 1,069,749 |
| リース資産 | 137,514 | 145,124 |
| 減価償却累計額 | △80,985 | △85,137 |
| リース資産(純額) | 56,528 | 59,986 |
| 建設仮勘定 | - | 27,848 |
| 有形固定資産合計 | 4,603,651 | 4,578,611 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 41,689 | 41,039 |
| 投資有価証券 | 117,742 | 126,304 |
| 差入保証金 | 169,748 | 169,748 |
| 保険積立金 | 6,224 | 7,725 |
| その他 | 32,080 | 31,841 |
| 貸倒引当金 | △8,861 | △8,861 |
| 投資その他の資産合計 | 316,933 | 326,758 |
| 固定資産合計 | 4,962,274 | 4,946,409 |
| 資産合計 | 6,459,356 | 6,287,346 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 94,102 | 95,780 |
| 短期借入金 | 3,592,150 | 3,541,544 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 454,150 | 449,858 |
| 未払金 | 29,621 | 10,808 |
| 未払費用 | 260,063 | 219,867 |
| 未払法人税等 | 23,854 | 5,972 |
| 未払消費税等 | 32,716 | 33,205 |
| 賞与引当金 | 46,420 | 23,967 |
| その他 | 143,046 | 132,774 |
| 流動負債合計 | 4,676,126 | 4,513,778 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 10,448 | 12,902 |
| 退職給付引当金 | 138,828 | 142,575 |
| 役員退職慰労引当金 | 33,191 | 33,191 |
| 長期預り保証金 | 475,594 | 474,594 |
| その他 | 75,080 | 75,560 |
| 固定負債合計 | 733,143 | 738,824 |
| 負債合計 | 5,409,270 | 5,252,603 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 626,761 | 626,761 |
| 資本剰余金 | 498,588 | 498,588 |
| 利益剰余金 | △96,334 | △118,125 |
| 自己株式 | △5,319 | △5,319 |
| 株主資本合計 | 1,023,695 | 1,001,903 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 24,731 | 30,540 |
| 評価・換算差額等合計 | 24,731 | 30,540 |
| 新株予約権 | 1,658 | 2,298 |
| 純資産合計 | 1,050,085 | 1,034,742 |
| 負債純資産合計 | 6,459,356 | 6,287,346 |

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業収益 | 907,737 | 939,942 |
| 営業費用 | 919,127 | 952,227 |
| 営業損失(△) | △11,389 | △12,285 |
| 営業外収益 | | |
| 受取保険金 | 587 | 1,172 |
| 助成金収入 | 840 | 330 |
| その他 | 4,265 | 4,275 |
| 営業外収益合計 | 5,692 | 5,778 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20,988 | 19,298 |
| その他 | 131 | 58 |
| 営業外費用合計 | 21,119 | 19,357 |
| 経常損失(△) | △26,816 | △25,864 |
| 特別利益 | | |
| 受取補償金 | 36,760 | - |
| 補助金収入 | - | 8,400 |
| 特別利益合計 | 36,760 | 8,400 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,424 | 256 |
| 特別損失合計 | 2,424 | 256 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | 7,519 | △17,721 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,108 | 4,070 |
| 法人税等合計 | 2,108 | 4,070 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 5,411 | △21,791 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期会計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期損益 計算書 計上額 (注3) |
|--------------------|---------|------------|---------|-------------|---------|-------------|-----------------------------|
| | ホテル関連 | リゾート 関連 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 732,755 | 147,692 | 880,447 | 27,289 | 907,737 | — | 907,737 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 4,525 | 5,532 | 10,057 | △3,142 | 6,915 | △18,305 | △11,389 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△18,305千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期損益 計算書 計上額 (注3) |
|--------------------|---------|------------|---------|-------------|---------|-------------|-----------------------------|
| | ホテル関連 | リゾート 関連 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 763,148 | 149,056 | 912,204 | 27,737 | 939,942 | — | 939,942 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 6,862 | 1,531 | 8,393 | △2,070 | 6,323 | △18,608 | △12,285 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△18,608千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。